平成２２年度生産環境総合対策事業のうち農業生産環境対策事業（地区推進事業）の評価について

３　地域有機資源肥料化推進事業

事業実施主体名	総事業費（円）	うち国費（円）	取組概要	成果目標（Ａ地域有機資源由来肥料を使用する農業者の割合を１割以上増加又は、Ｂ地域有機資源由来肥料の生産量の１割以上の増加）					事業実施主体による評価コメント	農政局等における評価コメント
				成果目標	現状（事業実施前）	目標（平成２３年）	実績（平成２２年）	増加率（%）		
音羽米を育てる研究会	1,201,400	600,700	・高付加価値肥料化装置・機器の導入。 ・地域の未利用・低利用資源を肥料として有効利用するための検討会の開催。 ・周知・普及のための広報資料の作成。	A	0	30	2.5	#DIV/0!	・地域の未利用の有機資源を利用しようとする意識が高まった。 ・県の指導の下、適切に実施することができ、成果目標年には達成できる。	・県の指導を受けながら、未利用資源の有機質肥料を施用した稲の生育・収量等の効果の検証のため、実証ほを設けるなどしており、平成２２年度では成果目標には至っていないが、成果目標年には達成が見込まれる。
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		

注１：成果目標については、どちらか一方を選択して記入。